(仮称) 中央区こども計画 (第三期中央区子ども・子育て支援事業計画) 策定に係る子ども向けパブリックコメントの実施について

1 概要

(仮称) 中央区こども計画の策定に向けたパブリックコメント (意見公募手続き) の実施に当たり、子どもたちからも意見を提出しやすくなるよう、小・中・高校生世代向けの計画簡易版を作成する。

2 実施時期

令和6年12月16日 (月) から令和7年1月7日 (火) まで

3 周知方法

「区のおしらせ ちゅうおう (12月15日号)」、区ホームページ、区 SNS 等で周知するほか、区立小・中学生に対し、計画の簡易版を GIGA スクール端末 (タブレット) に配信し、周知する。

4 計画の簡易版の作成について

計画の概要を子ども向けに分かりやすい表現にし、計画の趣旨、方向性ごとの施策と、子どもに関する計画上の目標値 (KPI) を記載

【子ども向け計画中間まとめ (簡易版) のイメージ】

かしょう ちゅうおうく けいかく
(仮称) 中央区こども計画
(第3期中央区子ども・子育て支援事業計画)
中間のまとめ (案)
小・中・高校生世代のみなさんの意見を募集しています!
令和6 (2024) 年12月

ちゅうおうく けいかく
中央区こども計画とは?

- 中央区では、子ども・若者が、安心して健やかに、自分らしく成長できるまちを目指して「中央区こども計画」をつくっています。
- 計画の基本理念 (スローガン) は以下のとおりです。

子どもも育む人も誰もが笑顔輝き、自分らしく成長できるまち 中央区

- この計画は、令和7 (2025) 年度~令和11 (2029) 年度までの5年間の計画です。
- 中央区がこれから取り組むことを5つの方向性にまとめました。

次のページからごらんください。

ほうこうせい 1 こ せいちょう かつどう おうえん
方向性1 子どもの成長と活動を応援します①

- 「子どもの権利」について、すべての人に理解を深めてもらいます。
- 子どもが身近な場所で、気軽に相談できるようにします。
- 子どもが文化やスポーツなどの興味や関心のある活動に参加でき、いろいろなことを体験できるようにします。また、仲間づくりのきっかけにつなげます。
- 小学校、中学校で子どもたちが「知 (確かな学力)」、「徳 (豊かな心)」、「体 (健康な体)」からなる「生きる力」を身に付けられるようにします。

※「子どもの権利条約」では、子どもの権利を尊重し実践していく上で、常に忘れてはならない「4つの原則」を示しています。
【子どもの権利条約「4つの原則」(出典:公益財団法人日本ユニセフ協会)】
「差別の禁止 (差別のないこと)」、「子どもの最善の利益 (子どもにとって最もよいこと)」、「生命、生存及び発達に対する権利 (命を守られ成長できること)」、「子どもの意見の尊重 (子どもが興味のある参加ができること)」

ほうこうせい 1 こ せいちょう かつどう おうえん
方向性1 子どもの成長と活動を応援します②

- 方向性1では、小・中・高校生世代へのアンケート結果から、次の目標値を設定しています。

指標	現段階 (令和6 (2024) 年度)	目標値 (令和10 (2028) 年度)
自分ひとりが好きだと思う子どもの割合	小学生: 63.9% 中学生: 58.3% 高校生世代: 62.9%	小学生: 70.0%以上 中学生: 70.0%以上 高校生世代: 70.0%以上
子どもの権利を知らない子どもの割合	小学生: 15.3% 中学生: 35.1% 高校生世代: 26.5%	小学生: 12.1%以下 中学生: 28.0%以下 高校生世代: 21.2%以下
困っていることや悩んでいることがあるときに話を聞いてくれる人がいる子どもの割合	小学生: 78.9% 中学生: 76.9% 高校生世代: 75.5%	小学生: 86.7%以上 中学生: 84.6%以上 高校生世代: 83.0%以上
地域の祭りやイベントなどに行くの好きな子どもの割合	小学生: 58.5% 中学生: 59.0% 高校生世代: 59.7%	小学生: 64.4%以上 中学生: 65.0%以上 高校生世代: 65.7%以上